

令和4年度 今市まちづくりセンターの主な取組

事業名

あつまれ！あさひっ子☆わくわく夏休み ～竹水鉄砲とシャボン玉で遊ぼう～

P

●事業実施に至った背景、目的

- ・新型コロナウイルス感染拡大による子どもたちの元気な活動の場の減少
- ・子どもたちの元気な場所の提供と、地域の方との交流の場作り
- ・児童クラブと地域（高齢者クラブ）、中学生との繋がりのかけ橋
- ・高齢者クラブの活躍の場作り

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・児童クラブと協働で事業実施
- ・打合せ（児童クラブ、高齢者クラブ、中学生、まちセン）計7回
- ・中学生・・・事業名考案、チラシ作成
- ・高齢者クラブ・・・竹の準備、当日竹水鉄砲の作り方の説明
- ・8/9 事業中止→8/22 に延期（それぞれの想いをくみ延期として夏休み最後に実施）

D

●事業の概要

■令和4年8月9日（火）延期 → 8月22日（月）

事業実施日 令和4年8月22日（月）13：30～16：00
 実施場所 今市放課後児童クラブ 園庭
 事業内容 竹水鉄砲とシャボン玉で遊ぼう

■参加者 児童クラブ36名
 中学生 8名
 高齢者クラブ8名
 児童クラブ支援員5名
 まちづくりセンター3名

C

●事業実施後の振り返り

- ・事業が延期になったことで、事業内容の見直しができ、当初はなかった事前準備の時間に充てることができた。
- ・中学生にもっとできることがあったのでは？
- ・制限をしなかったことで、子どもから高齢者まで誰もが思いっきり体験できた。
- ・保健師、地域防災担当職員に見守りを依頼し、熱中症等の安全面に配慮した。

A

●令和5年度以降の方向性

- ・中学生にアンケートを実施した結果「事業企画から参加したい」という声を聞いたので、次年度は、事業企画から参加できる仕組みを作る。
- ・地域全体に放課後児童クラブのことをもっと知ってもらう活動が必要。
- ・児童クラブの子ども、それぞれができることの役割を持って行えると良い。

竹水鉄砲作り↓



シャボン玉作り↓



高齢者も中学生も楽しんだ♪

子どもの元気に動き回る、はじけた声が園庭に響いた！

